

フォレストアデント ディレクター

【禁忌・禁止】

ニッケル及びクロムに対し発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある医療関係者及び患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本品の形状、構造は次のとおりである。

1. リゲチャー ディレクター



2. リンガル ブラケット オープン エクスプローラー



3. リンガル ブラケット オープン ディレクター



4. Twirl-on インストルメント



5. クイック ブラケット インストルメント



6. エラスチック アタッチ & リムーブ レンチ



7. モバイルロック ブラケット キー



8. クイックリアー ディレクター



9. クイックリアー アーチワイヤー ツール



10. アーチワイヤー タッカー



*11. クイックディレクター



*12. クイックディレクター ツープロング



本品の原材料は、ステンレススチール、及びポリプロピレンである。

製品番号	構 成 品 名
501-0833	リゲチャー ディレクター
501-0835	リンガル ブラケット オープン エクスプローラー
501-0843	リンガル ブラケット オープン ディレクター
501-0838	Twirl-on インストルメント
501-1841	クイック ブラケット インストルメント
652-0002	エラスチック アタッチ & リムーブ レンチ
732-0004	モバイルロック ブラケット キー
C501-1842	クイックリアー ディレクター
C501-0861	クイックリアー アーチワイヤー ツール
501-0855	アーチワイヤー タッカー
*501-1845	クイックディレクター
*501-1846	クイックディレクター ツープロング

【使用目的又は効果】

アーチワイヤ又はブラケットウイングの下に結さつ糸を入れ込んで誘導するか、アーチワイヤ又は補助用具を所定の位置に押し込むために用いる歯科用器具。

【使用方法等】

- 使用前に滅菌済みであることを確認する。
- 本品を用いて、アーチワイヤ又は補助用具を所定の位置に押し込む、又は装着するために用いる。

1) リゲチャー ディレクター

アーチワイヤ又はブラケットウイングの下に結さつ糸を入れ込んで誘導するために用いる。

2) リンガル ブラケット オープン エクスプローラー、及びディレクター

ブラケット ウィング下にリンガルブラケットオープナー、又はディレクターを差し入れ、舌側方向に持ち上げてウィングを開き、ワイヤの挿入、及び撤去を行う。



3) Twirl-on インストルメント

本品先端部のフック部を利用し、小円形の歯列矯正用エラスチック等をブラケットに装着、又はフックに掛けるために用いる。

4) クイック ブラケット インストルメント、及びクイックリアー ディレクター

クイック ブラケットまたはクイックリアーブラケットにワイヤを挿入、又は撤去するため、ブラケット キャップの開放に用いる。開放は次の2通りの方法がある。

- 本品をブラケット咬合側より差し入れ、キャップ先端部を押し開ける。
- 唇側よりキャップ穴に本品先端部を差し入れキャップを開放する。



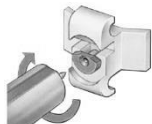
5) エラスチック アタッチ & リムーブ レンチ

先端フック部にエラスチックゴムを掛け、ブラケット、又はパッカルチューブ等のフックにエラスチックを装着するために用いる。

6) モバイルロック ブラケット キー

フォレストudent モバイルロック ブラケットにワイヤを挿入、撤去、あるいは固定するためのロックを回転するために用いる。

1. 時計回りに回転することでロックが解放される。



2. さらに45°回転させるとワイヤがフリー状態で装着される。



3. 90°回転することでワイヤが固定されて装着される。



7) クイックリアー アーチワイヤー ツール

1. ブラケットのクリップを開ける。
2. 二股になった先端部の両溝にワイヤーを引っ掛ける。
3. ツールのハンドル部保持しながら押し込み、ブラケットのワイヤースロットにワイヤーを誘導する。
4. ワイヤースロットにワイヤーが確実に装着されたことを確認し、ブラケットのクリップを閉じる。

8) アーチワイヤー タッカー

口腔内においてアーチワイヤーにオフセットバンドを付加するときに用いる。

*9) クイックディレクター

クイックブラケットのクリップの開閉に使用する。

*10) クイックディレクター ツープロング

クイックブラケット用の探針として用いる。

【使用上の注意】

1. 未滅菌の状態で納品されるので、使用前に必ず滅菌すること。
2. 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないよう、直ちに洗浄液に浸漬すること。
3. 折損等の原因となるので、器具に対して曲げ、切削、打刻（刻印）等の二次加工や改造を行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐために保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥後、乾いた場所に保管すること。
2. 洗浄・滅菌済みの本品を保管するにあたっては、再汚染を防ぐために清潔な場所に保管をすること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用（滅菌）前に、汚れ、傷、曲がり等に異常がないか点検をすること。
2. 使用後は、直ちに洗浄液に浸漬して血液、体液、組織等の付着物を除去し、感染防止のために洗浄・滅菌すること。
3. 汚染除去に用いる洗浄液は、pH が中性の洗剤もしくは溶液を、適正な濃度で使用するすること。

【洗浄】

4. 洗浄前に、余分な油分は使い捨てのペーパータオルでふき取ること。
5. 洗浄は中性洗剤もしくは溶液を用いてブラシをかけ、本品の表面および接合部を十分行うこと。
6. 洗浄後は清潔な流水で1分間すすぎ洗いし、腐食防止のために、直ちに乾燥すること。
7. 乾燥させる場合は、120℃を超えないようにすること。
8. 自動洗浄機を使用する場合は、医療機器等に適した洗浄機を使用すること。
9. 自動洗浄後、本品に損傷もしくは腐食がないか確認すること。

【滅菌】

10. 滅菌の際は、本品の先端部を保護しながら、滅菌用トレーの中に入れること。
11. 複数の本品を滅菌する場合には、損傷の原因になることもあるので、互いに接触しないように注意すること。
12. 高圧蒸気滅菌法で、121℃、20分間の処理をする。温度は138℃を超えないこと。
13. 滅菌器メーカーの指示に従って、滅菌器内に本品を配置すること。

【その他】

14. 超音波洗浄器を使用する場合は、洗浄器メーカーや洗剤メーカーの使用説明書に従って使用すること。
15. 一般的な潤滑オイルは使用せず、専用のオイルを使用すること。
16. インストルメント自体を損壊させるおそれがあるため、洗浄や消毒処理で長時間（夜通し・週末）放置しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

フォレストudent・ジャパン株式会社
東京都港区赤坂2-10-12 生駒硝子ビル2F
電話：03-6277-6980

製造業者：

FORESTADENT Bernhard Forster GmbH
（フォレストudent バーンハルドフォースター社）
国名：ドイツ